■いまどこかでこっそりとキミの墓石が造られているのですぞ

■キミの生命はキミのものであってキミのものでないとしたら

暑い日

水木しげる

その日は今までにない
むしあつい夜だった
家にじっとしていては
頭がおかしくなるよう
な暑さだった……

暑さの
せいであ
ろう 町は
静まりかえ
っていた……

ゴッ
ゴッ

妙な音が
ぼくを招く
ようにきこ
えるのだ

コッ
コッ

?
コッ

コッ
コッ

石や
コッ
コッ

なんだ石屋か

こんな暑いのになにやってんだろ

よいしょ

あっ

ごめん下さい
なにか用かな

ボクは自分の墓石をたのんだおぼえはありませんが

あっ あなたの名前ですか なんの気なしにやったまでで
ガチャッ

まあ入りなさい
ガラッ

なにしろ石屋も生存競争がたいへんでしてな

展覧会があるんですが

私も出品しようと思っていっしょうけんめいやっとるんです
なにもこんな暑いのに・・・

いえ〆切が明日なんですよ

どうですいいできばえでしょう第一のやつがいいですよ

きっと入選するでしょう
七月二十五日といえば今日じゃないか
水木しげる之墓
大正十三年三月八日生
昭和四十一年七月二十五日頓死

旦那とはどこかで一度あったような気がしますな
うんそういえばどこかで会った記憶があるな

ありゃあたしか貸本屋の会合のときだったかな
いえキャバレーですよ

キャバレーなんか行ったことないがなあ

七月二十五日といえばあと一時間だな

私が偶然につけた日付けを気になさっているようですね

ご心配でしたら七月二十五日が終るまでここにおられたらどうです

どうですビールでも

いやぼくは偶然だと思って気になんかしてないよ

まあせっかくあけたんですから
よくひえてますよ

ではすみません

近頃は石屋も大変でしてね

展覧会に
入選してな
いとロクに
仕事もこない
のですから
……

いやあ
どことも
同じですよ
ゴク

あと
五分で
七月二十五
日も終るな
それに
しても
あついで
すなあ

ほんとに
こんなに
暑かった
ら気の狂
う人間も
一人や二人は
でますよ

ほんと
です
ねえ

完